



# 図書館通信

甲府南高校図書館  
【2022年12月】  
No. 8

## 冬休み特別貸出の実施！

冬休みの期間中たくさん本を読んでもらうため、12/23(金)まで特別貸出を実施しています！どんどん借りてください！



冬休み特別貸出 ■返却期限:2023年1月10日(火)  
■貸出冊数:10冊まで

## 冬休み期間中は図書館は閉館です

12/24～1/5までの期間、図書館は館内整備等のため閉館です。貸出・閲覧・学習等での利用はできません。返却したい本は、図書館入り口の返却ボックスに入れてください。1/6(金)は9:15～16:50まで開館です。年明けの放課後残留学習の開始日は後日図書館のClassroomを通じて連絡します。

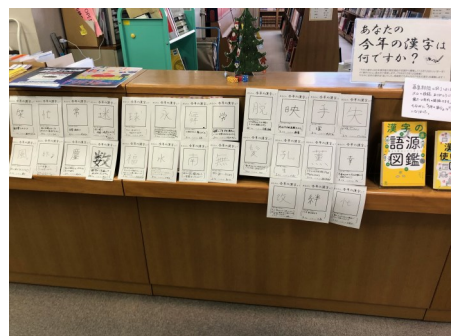
## 南高生が選ぶ今年の漢字

図書館では『南高生が選ぶ今年の漢字』を展示しています。

生徒たちが思い思いの『今年の漢字』を書きました。中には何個も書いてくれた人も！

終業式までカウンター横に展示しているので、ぜひ見てみてください！

同時に『漢字の本』も何冊か展示してあります。漢字の成り立ちを紹介する本や難読漢字の本などを展示しています。貸出可能なので興味がある人は年末年始の読書のお供にいかがですか？





## 新しい本が入りました！

新しい本は図書館に入って右手の「新着図書」の棚にあります。  
貸出中の場合は、予約ができます。お気軽におたずねください。

No image

『ヒトの壁』  
養老孟司著、新潮社

『バカの壁』でおなじみ、養老孟子の『壁』シリーズ最新刊。84歳を迎えた知性が語る究極の人生論。

No image

『犬小屋アットホーム！』  
大山淳子著、U-NEXT

「今日からここがあなたのおうち」。行き場を失った犬と人が集まり支え合う家（ホーム）での心温まる物語。

No image

『文系のためのめっちゃ優しい次元』  
浅井祥二監修、ニュートンプレス

東京大学教授がイラストや図を交えてめっちゃ優しく解説する「次元」とは何かの本。もちろん理系にもおすすめ！

No image

『光のところにいてね』  
一穂ミチ著、文藝春秋

古びた団地の片隅で出会った彼女と私。着る物も食べる物も住む世界も何もかもが違う二人が一つの愛に惑う四半世紀の物語。

No image

『魚は数をかぞえられるか？』  
ブライアン・バターワース著、長澤あかね訳、講談社

「デキる魚は最多数の群れに加わる」など、動物たちが持っている数的能力から、「数脳」の仕組みと進化を解説する。

No image

『葉と嘘の季節』  
米澤穂信著、集英社

トリカブトの花の葉が図書室の本から見つかる。図書委員の次郎と詩門は犯人を捜すが…。猛毒の葉に隠された嘘と真実。

No image

『ぼくはウーバーで捻挫し、山でシカと闘い、水俣で泣いた』  
斎藤幸平著、KADOKAWA

「うちに閉じこもらずに、他者に出会うことが、「想像力欠乏症」を治すための方法である」。新書大賞受賞作家が実際に見聞きし体験した未来を変える「現場の声」を伝える。

No image

『月の立つ林で』  
青山美智子著、ポプラ社

元看護師、売れない芸人、家族関係に悩む女子高生など躓いてばかりの日常を送る人々が出会ったのはタケトリ・オキナという男性のポッドキャスト「ツキない話」で…。

- 『ギネス世界記録2023』クレイグ・グレンディ編、大木 哲ほか訳、角川アスキー総合研究所
- 『いじめの聖域』石川陽一著、文藝春秋
- 『苦しいとき脳に効く動物行動学』小林朋道著、築地書館
- 『2025年、人類が再び月に降り立つ日』寺蘭淳也著、祥伝社
- 『「気の持ちよう」の脳科学』毛内拓著、筑摩書房

- 『満月珈琲店の星詠み メタモルフォーゼの調べ』望月麻衣著、桜田千尋画、文藝春秋
- 『さよならの言い方なんて知らない』河野裕著、新潮社
- 『ぬくもり』宮部みゆき他著、PHP研究所
- 『ばくうどの悪夢』澤村伊智著、角川書店

などなど……



## 1年生のPOP展示『動物が出てくる本』開催中！

図書委員会では、各学年の図書委員がテーマを決め、おすすめの本を選び、POPを作成して本を紹介しています。今回の展示は1年生が担当で、テーマは「動物が出てくる本」です。

本は図書館に入って左手の棚に展示します。